

V 入学者選抜の実施教科・科目等

1. 平成29年度入試からの変更点について

変更点はありません。詳細は各学部のページで確認してください。

2. 教科・科目名の略称について

大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のように略しています。

国語→国

地理歴史→地歴，世界史B→世B，日本史B→日B，「倫理，政治・経済」→「倫，政経」

数学→数，数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅲ→数Ⅲ，数学A→数A，数学B→数B

理科→理，物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基

外国語→外，英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

【注意】大学入試センター試験の成績利用の方法について

大学入試センター試験の「地理歴史・公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

第1解答科目が学部の指定した利用教科・科目でない場合は、出願資格を無資格としますので、注意してください。

VI 京都大学の学力検査の出題方針について

京都大学が入学者を選抜するため実施する個別学力検査の出題教科・科目は、高等学校学習指導要領による教育課程にしたがって学ぶ教科と科目に対応しています。出題教科・科目における出題範囲と学習指導要領上の教科・科目の関係は次の表のとおりです。

出題教科・科目	学習指導要領上の教科・科目
国語 文系, 理系	国語総合, 現代文B, 古典B
地理歴史	
日本史	日本史B
世界史	世界史B
地理	地理B
数学	
文系	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B
理系	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B
理科	
物理	物理基礎, 物理
化学	化学基礎, 化学
生物	生物基礎, 生物
地学	地学基礎, 地学
外国語	
英語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ
ドイツ語	
フランス語	
中国語	

京都大学の学部(医学部の場合, 学科)は、それぞれの入学受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づいて学力検査の内容を定めています。京都大学が実施する学力検査は、知識の活用から思考力と表現力まで、受験者に備わった学習能力を評価します。

この「出題方針」は、高等学校段階までどのような学習能力と学習態度を培うことを求めているのか、また、そうした能力と態度をどのような基準により評価しようとしているのかを示すものです。

高等学校の教育課程は、国語、地理歴史、数学、理科、外国語だけからなるものではありません。京都大学が入学志願者に求めている学習能力は、高等学校の教育課程全般を通

じて培われてくるものです。

こうして出題方針を示すことが、京都大学の入学志願者が受ける学力検査を理解するために役立つことを期待しています。

1. 国語の出題方針

日本語の文章の論理や論旨、あるいは作者の心情や表現の意図を、的確に理解し、自らの言葉で論理的にその理解を表現できることを評価します。そのため、文章のジャンルとして論説文、随筆、小説など、さらに文体についても明治擬古文まで含め、幅広く問題文を選び、漢字の書き取りや、文章表現の持つ意味、あるいは論理展開の説明をはじめとして、登場人物の言動に託された著者の意図、さらには問題文全体の論旨を問うなど、論述の形式で問題を課します。

古典文法についての正確な理解を持つとともに、古典の修辞などの基礎知識をもち、的確に古文及び漢文の文章を理解できると同時に、原文を現代語訳できることを評価します。そのため、物語や歴史、随筆、日記をはじめとして、ジャンルや時代を限らず、幅広く問題文を選び、語句や修辞の説明、文章の現代語訳、さらに登場人物の言動の理解から問題文全体の論旨に至るまで、さまざまな形式で論述問題を課します。

「国語」は、国語(文系)と国語(理系)と区分をして出題します。この二つの間で、学習指導要領の国語科の科目からみて出題の範囲に変わりはありませんが、出題される問題が異なることがあります。

2. 地理歴史の出題方針

日本史

「日本史」では、原始・古代から現代まで各時代の政治・社会・文化の特色を、個別の事象や知識を相互に関係づけてとらえ、さらに前後の時代や世界史との関係において考える分析力と俯瞰力が求められます。また、教科書をはじめとした歴史叙述は、遺跡・遺物や文書・記録などさまざまな歴史資料の研究結果に基づいていますが、こうした歴史資料に親しみ、それらを自ら読み解いていく意欲と能力が求められます。なお、「日本」という領域は歴史的に形成されてきたものですが、各時代の周辺諸地域との交流や国際的

な諸関係の中に位置づけて理解できることも必要だと考えています。

「日本史」の出題では、以上のような観点から、教科書から得られる基礎的な知識を活用しながら、広い視野での総合的な理解力を問う問題や、事象の正確な把握をふまえ、道筋を立てて説明する能力を問う問題を、出題しています。

世界史

「世界史」では、個々の地域世界の成立と発展、地域世界間の交流、近代以降の時代における諸地域世界の結合と変容、そして今日の地球世界の到来という世界史の潮流を、幅広い視野から総合的に把握し、考察する能力が求められます。

「世界史」の出題では、狭義の一国史よりも地域社会を単位として重視しつつ、政治・社会・文化の様々な側面について、個々の地域世界の内部の展開および地域世界間の相互関係を適切に把握しているかを問うことに重点を置いています。このような観点から、教科書に記載されている個々の歴史的事象をその背景とともに理解しているかを問う問題や、様々な歴史的事象を一貫した論理の下に相互に関連づけて歴史的潮流を説明する能力を問う問題を、出題しています。

地理

「地理」では、現代世界の地理的事象を、自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などの側面から理解する系統地理的能力、ならびに、諸地域における個別の事象や諸事象間の結びつきから理解する地誌的能力を有するとともに、今日の諸課題に関する地球的視野からの広い理解力が求められます。

「地理」の出題では、基礎的な学力を踏まえた、広い理解力や論理的な思考力を問うことに重点を置いています。このような観点から、地図(地形図を含む)、写真、統計などの資料を使って、世界の地理的諸事情を系統地理的あるいは地誌的視角から総合的に把握しているかを問う問題や、こうした事象の形成要因やその時間的変化を的確に説明する能力を問う問題を、出題しています。

3. 数学の出題方針

我が国の高等学校と中学校では、身近な現象や事象を「数学」の視点から捉えて数学の問題を作り出すこと、また数学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには得られた数学的な知識を利用して身近な現象・事象の理解を深めたり問題解決に役立てることの全般を「数学的活動」と呼んでいます。このような数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めること、事象や現象を数学的に表現する能力を高めること、さらには学習を通して創造性の基礎を涵養するとともに数学の良さを認識し、数学的な知識を論理的根拠に基づいて積極的に活用して判断しようとする態度を育てることが高等学校における数学学習の目標であると、学習指導要領は定めています。本学の学力検査における数学は、高等学校卒業までに学習する数学について、入学志願者がこの学習目標をどの程度達成しているかを評価し判断するものです。

数学の学力とは、単に計算力や論理力だけを指すものではなく、数学的な直観力や、式や数学の概念を利用した表現力なども含まれるものと考えています。したがって、我が国の小学校入学から高等学校卒業までに学習する数学的な概念、原理、法則、公式などの事項のすべてについて、個々の知識の有無だけを単に評価するのではなく、上述のような総合的な数学力を評価する問題を出題するように心掛けています。このため、個別学力検査では、数学的な表現力を評価するため、論述形式の解答となるような出題を主体にします。

具体的には、計算問題であっても、単に計算結果だけではなく、その過程や背後の論理性を評価するような出題を心掛けています。また、論理を問う問題では直観、類推、帰納、演繹等の数学的考察を正確な数学的表現力で記述する能力を評価できるような出題を心掛けています。数学の問題ではいわゆる「正解」に至ることは大切ですが、「正解に至る論理的に正しい過程」も正解と同様に大切です。

高等学校卒業までに学習する概念、原理、法則、公式といった数学的な知識や事項の記

述は、現状では教科書によってその扱いや書き方が多少異なっていますが、本学の数学において出題範囲としている内容について、いずれかの検定済教科書で記述されている事項はすべて出題範囲に含まれていると考えています。現状の数学の高等学校用検定済教科書の内容は、高等学校学習指導要領を踏まえてそこに定められる事項をすべて含みつつ、高等学校卒業までに培われる「数学的活動」の能力によって修得できる程度の事項について幅広く記述されています。したがって、個別学力検査における出題に際しても、高等学校学習指導要領を十分に踏まえた上で、いずれかの検定済教科書で記述されている程度の、高等学校卒業までに得られる論理力から理解できる程度の幅広い事項は出題対象であると考えています。問題作成にあたっては、単発的な個別の数学的知識を問う問題や、解法の暗記によって対処できるような問題を排するように心掛けています。さらに、出題範囲に含まれている複数単元でそれぞれに学習する数学的な知識を論理的・系統的に理解することによって問題解決に到達するいわゆる「融合問題」の出題を通して、数学的な知識の活用力も評価します。

数学（理系）では、出題の範囲に数学Ⅲが含まれます。数学（文系）と数学（理系）の間では出題される問題が異なることがありますが、出題の方針に変わりはありません。

4. 理科の出題方針

物理

高等学校で学ぶ物理では、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事物・現象を分析的かつ総合的に考察する能力を身に付けることを目標としています。物理学の基礎知識や考え方は、「力と運動」、「エネルギー」、「電気と磁気」、「波」、「熱と温度」、「分子や原子」といった様々な概念や原理・法則を系統的に理解するために必須のものであり、十分な修得が求められます。

個別学力検査「物理」においては、物理学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。出題の形式においては、知識の確認、物理的思考、

計算力を総合的に判断できるように問題を配置します。さらに、思考の過程と論証力を測る目的の記述式問題も出題します。そして、知識の羅列のみでなく、物理的思考、論証力、計算力を総合的に評価します。

化学

高等学校で学ぶ化学では、原子・分子と化学結合の概念を正しく捉えた上で、物質の性質や物質の変化に関する基本的な原理・法則の理解を深めることを目標としています。また、それらの原理・法則をただ記憶するのではなく、観察・実験を通して物質の具体的な性質や反応と結び付けて理解し、それらを活用する能力を身に付けることを目指しています。すなわち、無機物質、有機化合物、高分子化合物などの個々の性質や反応についての知識を単に蓄積するのではなく、それらに基づいて論理的に思考できることが重要です。

個別学力検査「化学」では、化学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。出題にあたっては、物質に関する基本的な知識が身についているかを問い、化学の基本となる概念や原理・法則を活用する能力を試します。さらに、反応式、構造式を適切に表記し、定性的あるいは定量的な考察を論理的に記述できるかも問います。

生物

高等学校で学ぶ生物では、生物や生物現象への関心を高め、目的をもって観察・実験を行い、生物学的に探求する能力を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解することを目標としています。遺伝子から生態系にいたる様々な生物学的事象についての基礎知識は、現代社会が直面する医療、生命倫理、食糧生産、環境保全、生物多様性保全といった重要な課題に対応する上で必須のものであり、十分な修得が求められます。

個別学力検査「生物」においては、生物学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。さらに、

修得した知識に基づいて、生物や生物現象に関する観察や実験の結果を適切に解釈し結論を導く能力を重視し、それを評価するために、記述・論述問題を取り入れます。

地学

高等学校で学ぶ地学では、日常生活や社会との関連を図りながら、地球と地球を取り巻く環境、および宇宙への関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育成するとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を養うことを目標としています。

個別学力検査「地学」では、地学に関する基本的事項の理解度をみるために、本学が指定する出題範囲から、できるだけ分野的な偏りがないように出題します。また、個別的な知識を問うだけでなく、地学的な基礎知識を活用して地学的現象を科学的に理解し、総合的かつ論理的に説明し、記述する能力を評価できるような問題を出題します。

5. 外国語の出題方針

外国語については、英語、ドイツ語、フランス語、中国語を出題します。

入学志願者には、外国語で書かれた情報を正確に理解するだけでなく、自らの主張や意見を、外国語を使って発信する能力を培うことを求めます。学力検査では、出題する個々の言語についての基礎的な学力とその応用力を評価の対象とします。以下、英語を例として出題の方針を説明します。

個別学力検査「英語」では、ただ単に英語を話すだけではなく、英語で書かれた論文や学術的な内容の記事を正しく理解し、その内容を的確にまとめ、それに対する自己の見解を効果的に表現するという、高い英語コミュニケーション能力を身につける上での基礎的な学力とその応用力を問います。この高い英語コミュニケーション能力は、しっかりした語彙力や慣用表現の知識、構文や文法の理解などを基盤としてようやく実現されるものです。

このような基礎的な学力とその応用力を問うために、まとまった内容の英文和訳や和文英訳を求める問題を多用します。語彙知識

を問うことに加えて、文法事項のうちでも特に論理的な思考と表現に欠かせない関係代名詞や関係副詞、仮定法、分詞構文などの理解力や、代名詞の指示対象の的確な理解力を問います。未学習の語句の意味を前後の文脈から正しく推測して、文章全体の主旨を速やかに把握する能力も問います。このような出題を通して、単なる訳出ではなく、包括的な英語の理解力と表現力を重視して評価します。

【総合人間学部】

◇募集人員115人（前期日程：文系62人・理系53人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計	
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	*	50		*	100	*	150	特色入試 追加合格	
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1			個別学力検査	150	100		200		200		650
	公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B				計	150	150		200	100		200
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1												
理	理	物基, 化基, } から2													
系	外	生基, 地基 (※注1 2. 参照)													
		英, 独, 仏, 中, 韓 から1													
		[5教科8科目] または [6教科8科目]													
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	*	100		*	*	*	100		
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B			個別学力検査	150			200	200	150		700
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, } から2				計	150	100		200	200		150
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1												
理	理	物理, 化学, } から2													
系	外	生物, 地学 } から2													
		英, 独, 仏, 中, 韓 から1													
		[5教科7科目]													

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

1. 理系の「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用品います。
2. 文系の「理科」について, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」(以下, 「基礎を付した科目」という。)のうちから2科目を選択するかわりに, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は, 合計得点(200点満点)を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
3. 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行います。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について
大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

(注3) 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」について

大学入試センター試験で課す*印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

【文学部】

◇募集人員210人（前期日程：210人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等	
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計
国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	50	250	特色入試追加合格
地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1										
公民	「倫, 政経」	数	数I・数II・数A・数B										
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	個別学力検査	150	100		100		150	500		
理	物基, 化基, } から2			計	200	150		150	50	200	750		
外	生基, 地基 (※注1 1.参照)												
	英, 独, 仏, 中, 韓 から1												
	(5教科8科目) または (6教科8科目)												

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「地理歴史」について
大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」、「数学II」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」、「数学II」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【教育学部】

◇募集人員54人（前期日程：文系44人・理系10人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等						
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計					
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	250	特色入試追加合格						
	地歴	世B、日B、地理B、	地歴	世B、日B、地理B から1															
	公民	「倫、政経」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B															
理系	数	「数Ⅰ・数A」、 「数Ⅱ・数B」	外	英、独、仏、中 から1	約3.5倍	個別学力検査	200	100	150	50	200	650	計	250	150	200	50	250	900
	理	物基、化基、 生基、地基 （※注1 2.参照）	から2																
	外	英、独、仏、中、韓 から1 〔5教科8科目〕または〔6教科8科目〕																	
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	250	計	200	50	250	150	250	900
	地歴	世B、日B、地理B、	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B															
	公民	「倫、政経」	理	物理、化学、 生物、地学 } から1															
理系	数	「数Ⅰ・数A」、 「数Ⅱ・数B」	外	英、独、仏、中 から1	約3.5倍	個別学力検査	150	200	100	200	650	計	200	50	250	150	250	900	
	理	物理、化学、 生物、地学 } から2																	
	外	英、独、仏、中、韓 から1 〔5教科7科目〕																	

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

1. 理系の「地理歴史、公民」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
2. 文系の「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
3. 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点、リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について

大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(5) 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

4. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

5. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【法学部】

◇入学定員330人（募集人員 前期日程 310人（外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む）

後期日程（特色入試）20人）

※法学部は「前期日程」試験及び「後期日程（特色入試）」試験に分けて募集します。

※「後期日程（特色入試）」試験については22～23ページ参照。

募集区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等	
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計
前期	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	前期募集人員の約3.5倍	センター試験	(200)	(200)		(200)	(100)	(200)	270(900)	外国学校出身者 追加合格
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1		個別学力検査	150	100		150		150	550	
	公民	「倫, 政経」 } から2 (※注1 1.参照)	数	数I・数II・数A・数B										
	数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1										
	理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 } から2 (※注1 2.参照)				計							820	
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科8科目) または (6教科8科目)												

※法学部の試験成績は、大学入試センター試験の成績（合計の900点満点を270点満点に換算）と個別学力検査の成績（550点満点）とを総合（820点満点）して算出します。

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史、公民」について、「世界史B」と「日本史B」のうちの少なくとも1科目が含まれるように、2科目を選択してください。
- 「理科」について、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点、リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行います。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「地理歴史」について
大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」、「数学II」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」、「数学II」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【法学部 特色入試】（後期日程）

◇募集人員20人

募集区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		能力測定考査			大学入試センター試験・能力測定考査の配点等									
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1次選考	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計	
後期 (特色入試)	国	国語	その他	小論文	後期募集人員の約15.0倍	センター試験	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)			270 (900)	
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2				能力測定考査							100	100	
	公民	「倫, 政経」 } (※注1 1.参照)													
	数	「数I・数A」, 「数II・数B」													
理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 } (※注1 2.参照)				計								370		
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科8科目) または (6教科8科目)														

※合格者は、第1次選考に合格した者について、大学入試センター試験の成績（合計の900点満点を270点満点に換算）及び小論文試験の成績（100点満点）により決定します。

※別途公表している「特色入試学生募集要項」も併せて確認してください。

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史, 公民」について、「世界史B」と「日本史B」のうちの少なくとも1科目が含まれるように、2科目を選択してください。
- 「理科」について、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」（以下、「基礎を付した科目」という。）のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点, リスニング 50点満点）を第1次選考においては200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1次選考を行います。

（注2）「能力測定考査」について

- 「小論文」について
小論文試験は、日本語と英語の文章を題材に、読解力, 論理的思考力, 表現力などについて評価します。

2. 第1次選考について

第1次選考は、大学入試センター試験及び調査書の成績により選考を行い、募集人員の15.0倍程度を目安として合格者を決定します。

【経済学部】

◇募集人員215人（前期日程：文系190人・理系25人・その他若干名）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

※「文系」は外国学校出身者のための選考入学者10人以内を含む。

学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等	
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計
文系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50	250	外国学校出身者
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から2	地歴	世B, 日B, 地理B から1										
	公民	「倫, 政経」 } から2	数	数I・数II・数A・数B										
理系	数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	約3.5倍	個別学力検査	150	100		150		150	550	外国人 特色入試
	理	物基, 化基, } から2 生基, 地基 (※注1 2参照)												
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科8科目〕または〔6教科8科目〕												
理系	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	約3.5倍	センター試験	50	50		50	50	50	250	追加合格
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B										
	公民	「倫, 政経」 } から1	外	英, 独, 仏, 中 から1										
理系	数	「数I・数A」, 「数II・数B」			約3.5倍	個別学力検査	150			300		200	650	
	理	物理, 化学, } から1 生物, 地学												
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科6科目〕												
						計	200	150		200	50	200	800	
						計	200	50		350	50	250	900	

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 理系の「地理歴史, 公民」及び「理科」について、2科目を受験したときは、第1解答科目の成績を用います。
- 文系の「理科」について、「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」(以下、「基礎を付した科目」という。)のうちから2科目を選択するかわりに、「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点(200点満点)を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。
- 英語のリスニングの成績については、以下のとおり利用します。
英語250点満点(筆記200点満点, リスニング50点満点)を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお、ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い、学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

(注2)「個別学力検査等」について

1. 「地理歴史」について

大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

2. 「数学」について

(1) 個別学力検査実施科目

文系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の4科目を併せて「数学」として出題します。

理系：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。

(2) 出題範囲

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が各選抜区分の募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、各選抜区分の大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【理学部】

◇募集人員306人（前期日程：306人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等
教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	
国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	センター試験の得点が630点以上 （※注2 4参照）	センター試験	50	25	50	50	50	225	特色入試追加合格
地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B									
公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, } から2									
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英	個別学力検査	150			300	300	225	975	
理	物理, 化学, } から2			計	200	25		350	350	275	1200	
外	英											

〔5教科7科目〕

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史, 公民」について, 2科目を受験したときは, 第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については, 以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点, リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては 200点満点に換算して利用し, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は, リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお, リスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い, 学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」, 「数学II」, 「数学III」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」, 「数学II」, 「数学III」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
 - 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
 - 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者を第1段階選抜合格者とします。

【医学部】

◇募集人員172人（前期日程：医学科102人，人間健康科学科 70人）

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		面接	配点合計								
医学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	※注2 5.(1) 参照	センター試験	50	50	50	50	50	50	250	特色入試 追加合格									
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B											個別学力検査	150			250	300	300	※注2 4.参照	1000
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2																			
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英, 独, 仏, 中 から1	物理, 化学, 生物 から2	200	50	300	350	350	1000	特色入試 追加合格												
理	物理, 化学, 生物 から2	その他	面接(※注2 4.参照)									英, 独, 仏, 中, 韓 から1	200	50	250	250	250	1000	特色入試 追加合格				
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1																						
		(5教科7科目)																					
人間健康科学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学科募集人員の 約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	250	特色入試 追加合格										
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B										個別学力検査	150			200	200	200	750		
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2																		計	200
数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英	物理, 化学, 生物 から2	200	50	250	250	250	1000	特色入試 追加合格												
理	物理, 化学, 生物 から2											英, 独, 仏, 中, 韓 から1	200	50	250	250	250	1000	特色入試 追加合格				
外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1																						
		(5教科7科目)																					

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
英語 250点満点（筆記 200点満点，リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」, 「数学II」, 「数学III」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」, 「数学II」, 「数学III」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

2. 「理科」について

- (1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
- (2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
- (3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
- (4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 「面接」について

医学科：面接試験では、「医学部医学科が望む学生像」（【学部・学科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】参照）に記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性などについて評価を行い、学科試験の成績と総合して合否を判定します。

従って、学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。

調査書は、面接の参考資料にします。

高等学校卒業後5年以上で調査書の記載がないもの、記載内容が不明確なもの、あるいは、疑義のあるものなどは、別途指定した書類の提出を卒業学校等へ依頼することがあります。

また、面接の参考資料とするため、個別学力検査受験者全員から、履歴書・志望理由などを記載した書類（受験票送付時に同封する本学科所定用紙）の提出を求めます。

5. 第1段階選抜について

- (1) 医学科は、利用する大学入試センター試験5教科7科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を総得点の順位に従って第1段階選抜の合格者とします。
- (2) 人間健康科学科は、入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【薬学部】

◇募集人員74人（前期日程：74人，その他若干名）

※京都大学では平成30年4月に、薬学部の改組を予定しております。それとともなって薬科学科（修業年限4年，薬剤師国家試験受験資格なし）と薬学科（修業年限6年，薬剤師国家試験受験資格あり）に分ける学科単位での募集から，薬科学科と薬学科を合わせた学部単位での募集（両学科一括募集）に変更いたします。学科振り分けは，本人の志望や学業成績等に基づいて4年進級時に行われます。

以上の計画は，文部科学省の審査結果によって確定するものであり，変更があり得ます。

なお，確定次第，改めて4年進級時の学科振り分け定員等について本学ホームページにより公表しますので出願を予定されている方は，必ずご確認ください。

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等	
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計
薬科学科・薬学科	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員の約3.5倍	センター試験	50	50	50	50	50	250	外国人(新卒等)特色入試追加合格	
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数I・数II・数III・数A・数B										
	公民	「倫, 政経」	理	物理, 化学, 生物 から2										
	数	「数I・数A」, 「数II・数B」	外	英		個別学力検査	100			200	200	200	700	
	理	物理, 化学, } から2												
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科7科目〕				計	150	50		250	250	250	950	

〔注1〕「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
英語250点満点（筆記200点満点，リスニング50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

〔注2〕「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
「数学I」，「数学II」，「数学III」，「数学A」，「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
「数学I」，「数学II」，「数学III」，「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

2. 「理科」について

(1) 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。

(2) 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(3) 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(4) 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

入学志願者が募集人員に対して記載する倍率を上回った場合は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、第1段階選抜を行うことがあります。

【工学部】

- ◇募集人員930人（前期日程：地球工学科182人，建築学科78人，物理工学科230人，電気電子工学科125人，情報学科87人，工業化学科228人，その他若干名）
 ※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えす。
 ※地球工学科は，外国人留学生を対象とした国際コースのための選考入学者30人以内を含む。

	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等							
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点合計						
全 学 科 共 通	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員の約3.0倍	センター試験	50	100	*	*	50	200	外国人 国際コース 特色入試 追加合格							
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B										個別学力検査	100		250	250	200	800
	公民	「倫, 政経」	理	物理																
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」		化学																
	理	物理（必ず選択すること）		英																
	外	化学, 生物 から1 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 〔5教科7科目〕				計	150	100	250	250	250	1000								

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
 英語 250点満点（筆記 200点満点，リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
 なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

工学部全体の志願者が工学部募集人員の約3.0倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、工学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

5. その他

第1～第2志望まで学科を選択することができます。

（注3）「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」について

大学入試センター試験で課す＊印の付いた教科の得点は、他の教科と併せて第1段階選抜のための得点対象としますが、学力検査等の得点対象としません。

【農学部】

◇募集人員282人（前期日程：資源生物科学科91人，応用生命科学科44人，地域環境工学科34人，食料・環境経済学科29人，森林科学科54人，食品生物科学科30人，その他若干名）
 ※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には，残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に加えます。

	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の選抜方法等		
	教科	科目名等	教科	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	配点合計
全 学 科 共 通	国	国語	国	国語総合・現代文B・古典B	学部募集人員の約3.5倍	センター試験	100	100		50	50	50	350	外国人 特色入試 追加合格
	地歴	世B, 日B, 地理B, } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		個別学力検査	100			200	200	200	700	
	公民	「倫, 政経」 } から1	理	物理, 化学, } から2		計	200	100		250	250	250	1050	
	数	「数Ⅰ・数A」, 「数Ⅱ・数B」 } から2	外	生物, 地学 } から2										
	理	物理, 化学, } から2		英, 独, 仏, 中 から1										
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 } から1 〔5教科7科目〕												

（注1）「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- 「地理歴史，公民」について，2科目を受験したときは，第1解答科目の成績を用います。
- 英語のリスニングの成績については，以下のとおり利用します。
 英語 250点満点（筆記 200点満点，リスニング 50点満点）を第1段階選抜においては200点満点に換算して利用し，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は，リスニングの得点を0点として取り扱います。
 なお，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語及びリスニング免除者は筆記 200点満点で第1段階選抜を行い，学力検査等の得点としては配点欄記載の点数に換算して利用します。

（注2）「個別学力検査等」について

- 「数学」について
 - 個別学力検査実施科目
 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の5科目を併せて「数学」として出題します。
 - 出題範囲
 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲から出題します。「数学B」は「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「理科」について
 - 大学入試センター試験で受験した科目と同じ科目を選択することができます。
 - 物理：「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - 化学：「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - 生物：「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
 - 地学：「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

3. 「外国語」について

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて「英語」として出題します。

4. 第1段階選抜について

農学部全体の志願者が農学部募集人員の約3.5倍を上回った場合、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計により、農学部全体の志願者で第1段階選抜を行うことがあります。

5. その他

第1～第6志望まで学科を選択することができます。